



リーダーになるための未来への扉が、ここにある



2026

Master of Hospital & Health Administration

Master of Hospital & Health Administration

医療の未来を、あなたが動かす

少子高齢化や人口減少等が進むわが国においては、医療ニーズの変化、医療人材を含めた医療機能・診療体制の確保、医療技術の進歩やICTへの対応、安定的で持続可能な財務基盤や経営体制の確保、危機管理能力の醸成など、医療機関が直面する課題は多岐にわたっています。

これらの課題に対応して、公衆衛生系専門職大学院である本大学院は、地域医療を担う医療機関の経営や管理に関する高度で専門的な知識と経験を有するリーダーになるための未来への扉と位置付けられます。具体的には、リーダーシップ、組織マネジメント、財務会計等に関する能力、医療の質や患者安全、さらにはわが国の医療界のリーダーが考える医療の将来像を学ぶとともに、先進的な取り組みを進める医療機関での実習など、ユニークな内容のコースとなっています。また、土曜日にオンラインで学べることも大きな特徴と言えます。

藤田医科大学大学院 医学研究科 病院経営学・管理学専攻

専門職大学院 3つの特色

ますます高度化・複雑化する医療ニーズに応えるため、地域の中核的な役割を担う病院や地域医療を担う医療機関の経営・管理の実務に取り組むとともに、地域を支えるリーダーを志す者に対して、経営・管理に関する高度の専門的知識や実務能力を備えた専門的職業人を養成することを目的とします。

01

2026年度入試より出願資格を変更

医学部医学科を卒業した方に限定せず、2026年度入試より大学を卒業した方を対象とした資格要件に変更し、看護職、事務職等の実務経験者を広く受け入れます。多様な人材を募集し、多職種連携の中核を担うリーダー育成を目指しています。

02

新カリキュラムがスタート

2026年度より、土曜日にオンラインで学ぶことができるようになるとともに、公衆衛生系科目を充実し、疫学、生物統計学、環境保健科学、社会・行動科学、保健医療政策・管理学の基礎知識も学ぶことができるようになります。さらには、医療界のトップリーダーおよびプロフェッショナルとして活躍されている方を実務家教員としてお招きし、財務会計の基礎から最新の医療制度やサービス、先進的取り組み事例を学ぶことができます。教員紹介はウェブサイトをご覧ください。

03

フィールドワークを導入

国内最多病床数を有し、その運営について優れた実績を誇る藤田医科大学病院（愛知県豊明市）を実習の拠点とし、事前学習において検討・分析した課題を、実際に病院内で検証し、さらなる改善に向けた提案を策定します。また、地域包括ケア中核センターの実習では、UR豊明団地と協働して行っているロボティックスマートホーム実証研究、団地学生居住等の事例、藤田医科大学病院の急性期医療から在宅医療・介護・福祉サービスへのスムーズな連携を学び、地域包括ケアを推進するための取り組みを提案します。

病院経営学

病院経営の重要な要素であるリーダーシップと組織ガバナンスについて、基礎的な理論や仕組みを学ぶとともに、それらの理論等をそれぞれの職場での経験に当てはめて実践的に考察を行います。

また、病院経営を実践する上で知っておくべき地域包括ケアや医療経済学の考え方、病院の財務諸表の見方や基本的な分析の手法等を学ぶとともに、フィールドワークにより病院経営のあり方と改善に向けた提案を行うなど、実践的な学習の機会を提供します。

- リーダーシップ
- ガバナンス
- 病院経営戦略論
- 財務会計論
- 経営分析
- コスト分析
- 地域包括ケア
- 医療マーケティング
- 医療経済学
- フィールドワーク



医学研究科
専門職学位課程特命教授
三浦 公嗣

病院管理学

病院における医療の質の管理に必要な専門知識について体系的に学びます。病院管理学の基礎や医療機能評価の考え方を学んだうえ、患者中心の理念に基づき、医療の質の確保と患者安全に向けた取組み、医療事故への対応等について学習します。また、病院設計、施設設備、医薬品・医療材料管理やそのマネジメント方法等、病院経営に必要な知識を修得します。

- 医療管理学総論
- 医療の質管理
- 患者安全
- 倫理
- 機能評価
- 病院設計
- 施設設備
- 医薬品医療材料管理



医学研究科
医事法・医療倫理学教授
飯島 祥彦

医療政策学

病院経営に大きな影響を与える医療提供体制、医療保険制度、介護保険制度、診療報酬・介護報酬等の考え方や仕組みについて専門知識を身に付けるとともに、医療政策の課題と今後の方向性についての理解を深めます。また、国際比較を通じて日本の将来の医療の在り方を考えるとともに、将来的に期待される先進的医療技術開発の実現のために重要な産学連携やレギュラトリー・サイエンスについて学びます。

- 医療・介護制度論（国際保健を含む）
- 診療報酬・介護報酬・関連法規
- 医療産業論



医学研究科
専門職学位課程特命教授
伊藤 善典

公衆衛生学

医療機関が地域における健康拠点としての役割を果たすためには、日常の予防医療から災害時や感染症流行時の対応まで、幅広い公衆衛生活動を理解し、実践できることが求められます。また、病院経営には、収支管理や人材マネジメントだけでなく、地域住民の健康を守るという公的使命の理解が不可欠です。感染症対策、慢性疾患予防、高齢社会における健康づくり、環境と健康の関係をはじめ衛生学・公衆衛生学、社会行動科学、環境健康科学、疫学、生物統計学を学びます。

- 衛生学・公衆衛生学
- 社会行動科学
- 環境健康科学
- 疫学
- 生物統計学



医学研究科
公衆衛生学教授

太田 充彦

総合学習

豊富な実務経験を有する実務家教員の講師陣によるワークショップ形式の実践教育を行います。病院経営の現場で生じる経営課題や、人や組織に関する課題の事例をもとに、人材マネジメント、多職種連携、病院組織の内発的動機付け、組織改革等の課題解決能力を修得します。「課題研究」では、フィールドワーク等を通じて、病院経営又は関連する医療政策に関するテーマについて経営分析と経営戦略の策定を自ら行い、教員からの個別指導や他の学生との議論を重ねることによって、実践的な経営戦略を提案します。

- 実践的に考える人材マネジメント
- 病院経営の実際・病院再編統合
- 多視点から考える総合経営
- グループワーク演習
- 課題研究

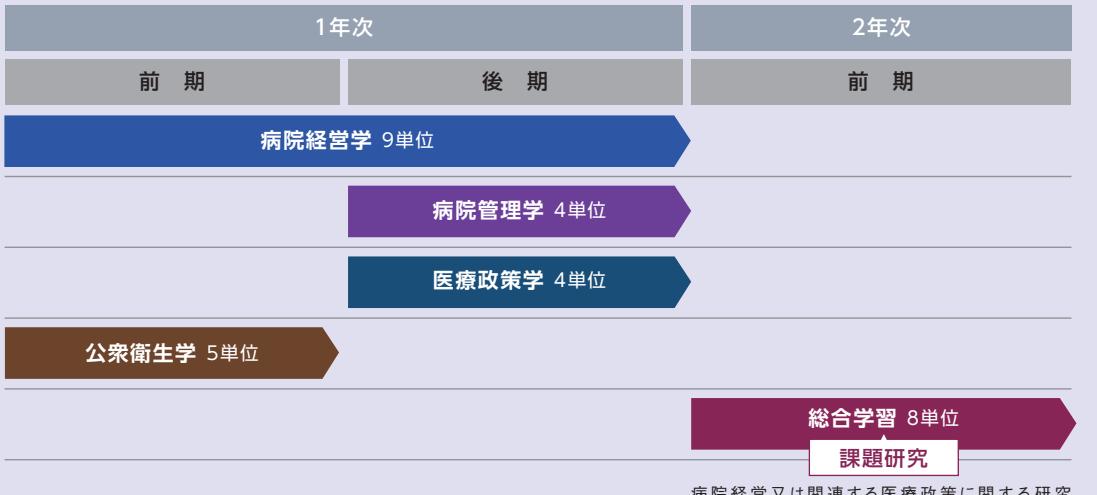


医学研究科
専門職学位課程特命教授

亀井 美登里

教育課程の概要 [必修科目を30単位以上履修]

※内容は予定であり、変更する可能性があります



カリキュラム



病院経営又は関連する医療政策に関する研究
テーマを見出し、実践的な内容の成果物を発表

01 募集人員と出願日程

専攻名	募集人員
病院経営学・管理学専攻	10名

事項	日程	
	第一次募集	第二次募集
出願期間	2025年10月1日(水) ～10月9日(木)	2025年12月10日(水) ～12月19日(金)
試験日	2025年11月2日(日)	2026年1月11日(日)
合格者発表	2025年11月28日(金)	2026年1月30日(金)
学納金納付期限	2025年12月24日(水)	2026年2月25日(水)
入学時期	2026年4月	
入学式	2026年4月12日(日)(参加任意)	

(注)第一次募集で定員が充たされた場合は、第二次募集を行わないことがあります。

02 出願資格

病院における病院経営者または病院経営幹部等の資質を有する多様な人材を募集するため、大学を卒業した者、または個別の資格審査により大学卒業者と同等以上の学力があると認めた22歳以上の者であって(i)～(v)のいずれかを満たす者に対して、出願資格を付与します。

- (i) 医師免許を有する者
- (ii) 10年以上の実務経験を有する者
- (iii) 地域において中核的な役割を担う病院や地域を支える病院の病院経営・管理の実務に取り組み、地域を支えるリーダーとなることを志す者
- (iv) 地域において中核的な役割を担う病院や地域を支える病院の医療専門職業等に就いており、病院経営・管理に関する高度の専門的知識や実務能力の修得を志す者
- (v) 個別の資格審査により適切と認めた者



大学院医学研究科の3方針 [専門職学位課程]

1.入学者受け入れ方針(アドミッションポリシー)

医学研究科専門職学位課程では、以下のような人の入学を求めていきます。

- 1.課程を修了するための十分な医学知識および実務経験を有している人
- 2.病院において指導者として活躍する情熱のある人
- 3.誠実で協調性に優れ、責任感と倫理性を有し、業務を遂行できる人
- 4.医療現場で生じる様々な問題の解決に向けて、自ら研究課題に取り組む目的意識のある人

2.教育課程の編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)

医学研究科専門職学位課程では、以下の方針に基づいてカリキュラムを編成します。

- 1.病院経営に求められる高度専門的な知識を獲得し、その基本的能力を養うため、「病院経営学」・「病院管理学」・「医療政策学」の3つの領域を基軸とした教育を行う。
- 2.病院経営の実践において固有の専門知識を要するテーマについて学修し、我が国の医療制度の下で国際標準レベルの医療を実現させるため、幅広い分野の知見を統合した問題解決能力を身につけるための教育を行う。
- 3.実際に生じた医療現場の課題に関する事例を用いて学生が相互にかつ自発的に討論を反復して訓練することで、病院経営における課題解決を経験し自らのものとする訓練を行う教育手法により、経営戦略を思考する能力、他者の意見を聞く技術、自身の意見を明確に説明する技術を修得するための教育を行う。

3.課程修了認定基準(ディプロマポリシー)

医学研究科専門職学位課程では、1年6ヶ月在学し、所定の単位を修得し、病院経営学・病院管理学課題研究にて、以下の知識・技能・能力を修得したと認められる者に修士(専門職)の学位を授与します。

- 1.病院経営学・管理学のコア領域「病院経営学」、「病院管理学」、「医療政策学」に関する専門知識・技能の基本的理解
- 2.地域社会への理解と高い倫理感を持つ医療人として、経営戦略を思考する能力、他者の意見を聞く技術、自身の意見を明確に説明する技術、多職種の役割を理解し連携する能力
- 3.病院経営の現場で生じる課題を発見し、多職種連携の中核を担うリーダーとして、課題解決のために組織を動かし遂行できる能力



Contact Us



藤田医科大学大学院 医学研究科
病院経営学・管理学専攻[専門職大学院]

